

短報

京都府日本海岸からはじめて採集されたナメクジウオ

西川輝昭*・山西良平**

Teruaki NISHIKAWA and Ryohei YAMANISHI: First record of *Branchiostoma belcheri* (GRAY) from the Japan Sea coast of Kyoto Prefecture, Middle Japan.

わが国日本海沿岸におけるナメクジウオ *Branchiostoma belcheri* (GRAY) (脊索動物頭索類) の記録はこれまで数少なく、地域も下関沖および北九州沿岸にかぎられていた (NISHIKAWA, 1981, fig. 1 参照)。最近、京都府与謝郡網野町から丹後町にかけての丹後半島沖で2個体が採集されたので、ここに報告する。

これらの標本は1982年8月、京都府立海洋センターが実施した北丹後地区人工礁漁場造成事業調査で、水深30.0および53.8mの砂礫底から採集された。このアルコール浸漬標本は、筆者のひとり山西を経て、現在大阪市立自然史博物館に保管されている (登録番号 OMNH-IV-949)。

筋節はほぼ乳白色。体長は36.1 mm および31.5 mm で、大個体には右19個、左17(?)個の大きな生殖巣 (おそらく雄性) がみられるが、小個体では痕跡的である。外鬚はそれぞれ42本および38本。大個体においては背鰭室数285、肛前鰭室数47、筋節式は39+17+10=66、一方小個体ではそれぞれ320、57、38+15+12=65を数えた。これらをはじめおもな形態的特徴において、本標本は日本産ナメクジウオのこれまでの記録と一致し、“*B. belcheri* var. *tsingtauense*” と酷似する (前記文献 Tables 2-3を参照)。

わが国沿岸のナメクジウオは、九州西岸産のものに若干の疑問はあるものの、アモイ産の *B. belcheri* よりも中国膠州湾産の “var. *tsingtauense*” に形態的に類似する (前記文献)。既知の産地と遠く隔たった京都府産の

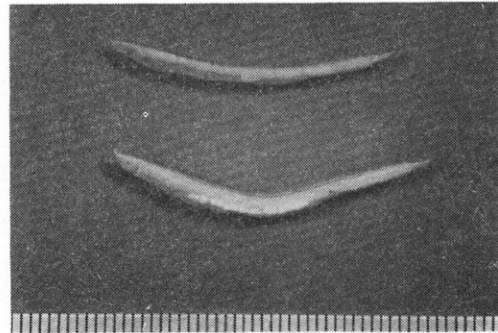


写真 丹後半島沖で採れたナメクジウオ

今回の標本においても、このことがあてはまる結果となった。今後更に多くの標本や情報を得て、日本産ナメクジウオの系統分類学的位置についての解明をすすめたいと考えている。また、この動物の分布に関する知見の乏しい日本海沿岸において、それが増大することを期待する。

最後に、標本を提供いただき、観察結果の公表を許可下さった京都府立海洋センターの篠田正俊調査部長に厚く御礼申し上げます。

文 献

NISHIKAWA, T. 1981: Considerations on the taxonomic status of the lancelets of the genus *Branchiostoma* from the Japanese waters. Publ. Seto Mar. Biol. Lab., 26, 135-156.

* 名古屋大学教養部

** 大阪市立自然史博物館